

卒寿記念 人間国宝



Shino Type by SUZUKI Osamu,
a Living National Treasure: In commemoration of his ninetieth birthday

志野美術館 2023年 個人蔵

2025年3月29日(土)～6月1日(日)

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI

〔開館時間〕 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

〔主 催〕 岐阜県現代陶芸美術館、NHKエンタープライズ中部

〔休 館 日〕 月曜日 (ただし、5月5日は開館)、5月7日 (水)

〔共 催〕 中日新聞社、東海テレビ放送、TOKAI RADIO



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

観覧料：一般1,000円 [900円]、大学生800円 [700円]、高校生以下無料 ※〔〕内は20名以上の団体料金

※以下の手帳等をお持ちの方、および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費 (指定難病) 受給者証

※国際陶磁器フェスティバル美濃 24 7 館入場セット券の特別招待券 [卒寿記念 人間国宝 鈴木蔵の志野展]

未使用につき1名観覧可

最新の情報は
当館ウェブサイト
ご確認ください



卒寿記念 人間国宝

志野展の鈴木藏

Shino Type by SUZUKI Osamu,
a Living National Treasure. In commemoration of his ninetieth birthday

日本の、そして美濃陶芸の現在を代表する陶芸家、鈴木藏(1934年生まれ)は、荒川豊蔵(1894-1985)に続き、二人目の「志野」における重要無形文化財保持者(人間国宝)です。令和6年度、文化功労者に顕彰されました。

鈴木藏は岐阜県土岐市に生まれ、多治見市市之倉の丸幸陶苑に勤務する父の助手として働く中で、本格的にものづくりの道へと進むことになります。1966年に31歳で独立。薪窯でしか焼けないとされていた「志野」にガス窯で挑戦し、自然への畏敬の念を重んじ、伝統を大切にしながら独自の作陶スタイルを確立していきます。

「志野には日本人の美意識の独特さと素晴らしさがある」と語る鈴木藏。作品を作るなら「新しくて、力強いもの」という姿勢を崩さず今日まで取り組んできました。

本展では2024年12月に卒寿を迎えた鈴木藏の初期から最新作までを一室に展示します。古典を大切にしつつ自らの美意識を映し出した、独自性に富んだ作品を展示し、鈴木藏の軌跡と「今」を紹介します。



2



3



4



5



6



7

1. 鈴木藏氏近影 / 2. 志壺大皿 1991年 国立工芸館蔵 / 3. 志野陶壺 2021年 個人蔵 / 4. 志野香炉 2017年頃 個人蔵 / 5. 志壺茶碗 2002年 岐阜県現代陶芸美術館蔵 / 6. 志壺水指 1988年 個人蔵 / 7. 志壺蓋付碗 1990年 阿含宗本山蔵

桃山時代を代表する 名碗も特別展示!

重要文化財(浪市茶碗 銘 峯紅葉)
桃山時代 16~17世紀 五島美術館蔵



関連記事

◇講演会「志野の魅力ー人間国宝 鈴木藏の作陶と作品ー」

5月3日(土・祝) 14:00~15:30

講師: 唐澤昌宏(本展監修者・国立工芸館館長)

会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

定員: 50名 聴講無料・事前申込(フォーム) [受付開始 3月29日(土)]

◇トークイベント「美濃陶芸・次世代の挑戦者たち」

美濃を拠点に活動する、次世代の陶芸家たちが向き合う「伝統」についてお話しいただきます。

5月17日(土) 14:00~15:30

出演: 酒井博司(志野・土岐市) / 鈴木徹(緑釉・多治見市) / 若尾誠(青瓷・多治見市)

会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

定員: 50名 聴講無料・事前申込(フォーム) [受付開始 4月5日(土)]

◇ギャラリートーク(当館学芸員による展示解説)

4月13日(日)、5月11日(日) 各日14:00~

参加無料・事前申込不要・要観覧券(高校生以下は無料)

この他、会期中にさまざまなイベントを開催します。
詳しい内容や申込方法については、当館ウェブサイト等でお知らせいたします。

- 季節のワークショップ 4月26日(土)
- MoMCAの小さな図工室 5月4日(日・祝)
- MoMCAやわらかアートツアー 5月24日(土)

イベント 申込方法

申込フォームはウェブサイトのイベントページ詳細をご覧ください。

※イベントは都合により内容を変更することがあります。
詳細や最新情報は、当館ウェブサイトまたはSNSにてご確認ください。



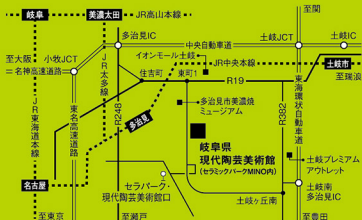
同時開催(ギャラリーⅡ) 2025年4月26日(土)~6月15日(日)

香りとやまきのー掌のうつわからオブジェまで / コレクション・ハイライト /
令和6(2024)年度新収蔵品



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101
URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>
X [@gpmomca](http://twitter.com/gpmomca)
Facebook <http://www.facebook.com/cpm.gifu.museum>



【電車でのアクセス】

東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え 多治見駅から

○タクシー 約10分

○多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」約20分

→「セラミックパークMINO」下車 ※土・日・祝のみ運行

○東鉄バス「瑞浪駅前」「妻木上郷」「駄知」行き 約15分

→「セラパーク・現代陶芸美術館」下車→徒歩約10分

【お車でのアクセス】

○東京方面・東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由

→土岐JCT経由 東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分

○富山方面・東海北陸自動車道→美濃関JCT経由

○長野方面・中央自動車道

→土岐JCT経由 東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分

○大阪方面・名神高速→小牧JCT経由 中央自動車道 多治見ICから

国道19号を土岐・中津川方面に約10分→[東町1]の交差点を右折